

中学地理プリント（過去問類似）

近畿地方

名前

得点

/8

問1 大阪平野の中心に位置し、江戸時代には「天下の台所」と呼ばれ、全国の年貢米や特産物が集まる商業の中心地として発展した都市はどこか、次の中から選びなさい。（2017年 群馬県公立入試 類似）

1. 大阪市 2. 京都市 3. 堺市 4. 神戸市

問2 京都府と他の府県との位置関係を説明した文として、正しいものはどれですか。京都府を中心に、周囲を兵庫県、大阪府、福井県、滋賀県、奈良県、三重県が取り囲んでいる状況を踏まえて答えなさい。（2016年 和歌山公立入試 類似）

1. 京都府の西側には兵庫県が、南側には大阪府が、そして北東側には福井県がそれぞれ隣接している。 2. 京都府の東側には兵庫県が、北側には大阪府が、そして南西側には福井県がそれぞれ隣接している。 3. 京都府の北側には兵庫県が、西側には大阪府が、そして南東側には福井県がそれぞれ隣接している。 4. 京都府の南側には兵庫県が、東側には大阪府が、北西側には福井県がそれぞれ隣接している。

問3 近畿地方の各府県を比較した統計において、面積が約5,777平方キロメートル、人口が約184万人であり、製造業出荷額等が約9兆4,500億円と極めて高く、かつ海面漁業生産額が約489億円に達するなど、工業と水産業の両方が盛んな特徴を持つ県はどこですか。（2015年 長野県公立入試 類似）

1. 三重県 2. 滋賀県 3. 奈良県 4. 和歌山県

問4 滋賀県の中央部に位置し、県の面積の約6分の1を占める、日本で最も面積が広い湖の名称を次の中から選びなさい。（2023年 群馬県公立入試 類似）

1. 琵琶湖 2. 霞ヶ浦 3. 猪苗代湖 4. 諏訪湖

問5 近畿地方の工業の特色について、印刷・関連製品の出荷額割合が他の地方に比べて極めて高い理由を説明したものとして、最も適切なものを選びなさい。（2024年 福岡県公立入試 類似）

1. 大阪などの大都市圏に出版・報道機関が集中しており、印刷物の需要が大きいため。 2. 原材料となるパルプの輸入に適した大規模な港湾施設が、阪神工業地帯に整備されているため。 3. 歴史的建造物が多く、文化財の修復や保存のための特殊な印刷技術が発達したため。 4. 内陸部の広大な土地に、全国の教科書を一括して生産する大規模な工場団地が建設されたため。

問6 1896年に滋賀県で発生した記録的な豪雨による大水害について、その被害状況を説明した記述として最も適切なものを次の中から選びなさい。（2021年 神奈川県公立入試 類似）

1. 琵琶湖の水位が記録的に上昇したことで、下阪本村の全戸にあたる700戸が浸水するなど、周辺の地域に甚大な被害をもたらした。 2. 湖の周辺に設置されていた堤防が日本海側からの高潮によって決壊し、滋賀県北部を中心に家屋の流出が相次いだ。 3. 大阪湾からの逆流を防ぐために水門を閉鎖した結果、琵琶湖の出口が完全になくなり、京都市内が長期間冠水した。 4. 湖の干拓事業が進んでいたため、雨水を貯める機能が低下しており、短時間の雨で急激に水位が上昇して農地に塩害をもたらした。

問7 近年の日本における宿泊需給の変化について、大阪府を事例とした説明として最も適切なものはどれですか。2012年から2016年にかけて、延べ宿泊者数と外国人延べ宿泊者数の双方が増加傾向にある統計状況を考慮して選びなさい。（2019年 大阪公立入試 類似）

1. 観光需要の増加に伴って客室稼働率が向上し、それに合わせる形で宿泊施設の供給も拡大した。 2. 外国人宿泊者数は増加したが、日本人宿泊者の激減により客室稼働率は低下し、宿泊施設の廃業が進んだ。 3. 東京都の客室稼働率が最も高くなったため、大阪府では過剰な供給を抑えるために客室数が減少した。 4. 観光需要は増加したが、土地不足の影響で宿泊施設の建設が全く行われず、客室稼働率のみが低下した。

問8 リアス海岸は、その複雑な地形からくる環境的な特徴を利用して、古くから人々の生活や産業に役立てられてきました。この地形がもたらす利点とその活用例として最も適切なものはどれですか。（2023年 島根公立入試 類似）

1. 奥行きのある入り江は波が穏やかであるため、真珠やカキなどの養殖業や天然の良港として利用される。 2. 海岸沿いに広大な平地が広がるため、大規模な水田地帯として食料生産の拠点となっている。 3. 海岸線が直線的で遠浅な砂浜が続くため、大規模な海水浴場や塩田開発に適している。 4. 地盤が非常に強固で平坦であるため、大型の重化学工業地帯やコンテナターミナルの建設に適している。

答え合わせ・解説

- 問1** **答え 1**
大阪市
- 淀川の河口に位置する大阪は、水上交通の要衝として江戸時代に大きく発展しました。全国各地の諸藩が年貢米や特産物を売りさばくための「蔵屋敷」を置き、物産の集積地となったことから「天下の台所」と称されました。現在も西日本最大の経済・文化の中心地としての役割を担っています。
- 問2** **答え 1**
京都府の西側には兵庫県が、南側には大阪府が、そして北東側には福井県がそれぞれ隣接している。
- 京都府の境界線を確認すると、西側の丹波・丹後地方は兵庫県と長く接しており、南側の山城地方は経済的な結びつきが強い大阪府と接しています。また、日本海に面した北部地域では、東側に向かって福井県嶺南地方と隣合っています。このように京都府は、近畿地方内部の府県だけでなく、北陸地方の福井県とも境界を接している点が地理的な大きな特徴です。
- 問3** **答え 1**
三重県
- 三重県は、中京工業地帯の一角を担う四日市市などを擁しており、近畿地方の他の府県と比較して製造業出荷額等が非常に高い数値を示します。また、伊勢志摩地方に代表されるリアス海岸を活用した養殖業や沿岸漁業が盛んであるため、内陸県である滋賀県や奈良県、あるいは工業規模の異なる和歌山県と区別することができます。
- 問4** **答え 1**
琵琶湖
- 滋賀県にある琵琶湖は日本最大の面積を誇る淡水湖です。古くから交通の要所として利用されてきたほか、現在では近畿地方の1,400万人以上の生活を支える重要な水資源となっています。選択肢にある霞ヶ浦は茨城県にある日本で2番目に大きい湖、猪苗代湖は福島県、諏訪湖は長野県に位置する湖です。
- 問5** **答え 1**
大阪などの大都市圏に出版・報道機関が集中しており、印刷物の需要が大きいため。
- 印刷業は、消費地である大都市に立地する傾向が強い産業です。近畿地方には西日本の中心都市である大阪があり、新聞社や出版社などの情報発信源が集まっているため、それらに付随する印刷・関連製品の製造が活発に行われています。統計上でも、近畿地方におけるこの分野の割合は全国的に見て突出しています。
- 問6** **答え 1**
琵琶湖の水位が記録的に上昇したことで、下阪本村の全戸にあたる700戸が浸水するなど、周辺の地域に甚大な被害をもたらした。
- 1896年（明治29年）の豪雨では、4日間で1000ミリという年間降水量に近い雨が降り、琵琶湖の水位が上昇しました。資料によると、この災害によって死者・行方不明者が34名にのぼり、下阪本村のように全戸が浸水する村が現れるなど、近現代における日本の水害史上でも特筆すべき被害となりました。この背景には、当時の琵琶湖の流出河川が瀬田川一本のみで、排水能力が限定的であったという地理的要因もありました。
- 問7** **答え 1**
観光需要の増加に伴って客室稼働率が向上し、それに合わせる形で宿泊施設の供給も拡大した。
- 観光需要（宿泊を希望する人の数）が増加すると、既存の宿泊施設の効率を示す客室稼働率が上昇します。大阪府では外国人観光客を含む延べ宿泊者数が右肩上がりに推移したことで、稼働率が極めて高い水準に達しました。このような需要の拡大は投資を呼び込み、新しいホテルの建設といった供給面の増加をもたらすという経済的な因果関係があります。
- 問8** **答え 1**
奥行きのある入り江は波が穏やかであるため、真珠やカキなどの養殖業や天然の良港として利用される。
- 入り江が陸地の奥深くに入り込んでいるため、外洋の激しい波が遮断され、水面が非常に穏やかになります。また、沈降によって水深も十分に確保されるため、大型の船が停泊する港や、波の静かさが求められる魚介類の養殖に適した環境となります。